

## 旧篠ノ井線廃線敷の歩み

- 明治29年(1896) 信越線と中央線を結ぶ篠ノ井線の建設に着手
- 明治33年(1900) 篠ノ井～西條間が開通
- 明治35年(1902) 西條～松本～塩尻間が開通
- 明治44年(1911) 塩尻～篠ノ井間が篠ノ井線となる
- 明治45年(1912) 中央本線東京～塩尻～名古屋間全通  
↓  
蒸気機関車が客車や貨車を牽引
- 昭和36年(1961) 列車増発のため潮沢信号場開設
- 昭和48年(1973) 篠ノ井線全線の電化が完成  
\* 地滑り対策と列車の高速化が必要となる
- 昭和63年(1988) 明科～西条間を新線に切替
- 平成21年(2009) 廃線敷のトレッキングコース整備が完了



JR明科駅 ↓

旧第2白坂トンネル  
駐車場

潮沢信号場跡中心

漆久保トンネル

けやきの森

東平

三五山トンネル

潮神明宮

旧篠ノ井線廃線敷  
コースマップ



旧線を走る急行列車 (A付近)

JR明科駅から潮神明宮まで約  
1.2km (徒歩約25分) 駅前  
案内板の地図をご覧ください

潮神明宮 → 旧第2白坂トンネル駐車場  
距離、**[距離標識、km]**、徒歩(分)

潮神明宮廃線敷駐車場、トイレ  
0.0km (0)

↓  
0.6km 三五山トンネル北口 **[30]** (10)

↓  
1.6km 東平庵 **[31]** (30)

↓  
2.6km けやきの森、トイレ **[32]** (50) [冬期閉鎖]

↓  
3.4km 漆久保トンネル南口 **[32.8]** (65)

↓  
4.2km 潮沢信号場跡中心 **[33.6]** (80)

↓  
4.8km 旧第2白坂トンネル駐車場 **[34.2]** (95)

【作成：安曇野案内倶楽部 矢花和成】

# 旧篠ノ井線廃線敷を訪ねて



けやきの森自然園

→  
廃線敷には鉄道防備林として3万本ものけやきが植えられていますが。数百万年前までフォッサマグナの海底だったこの

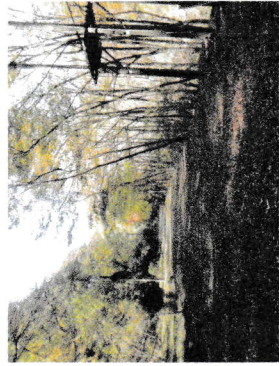
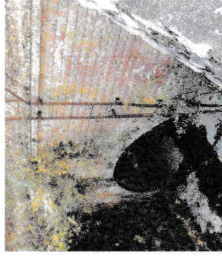
地域は粘土層が形成されやすく、地滑りの災害が多く発生しました



↑ 漆久保トンネル  
レンガ造りの壁面がそのまま残る長さ53mのトンネルで、明治期の貴重な鉄道遺産です。絶好の撮影スポットです



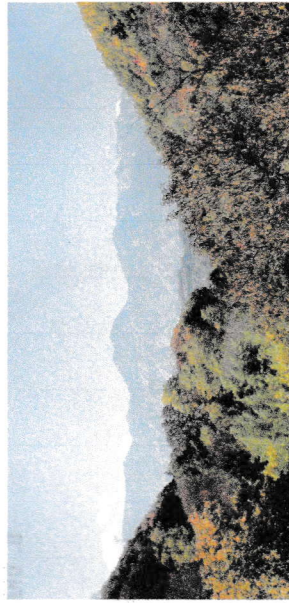
(上) 覚明様と普賢様のアーチ橋  
(右上) 築堤下の小沢川



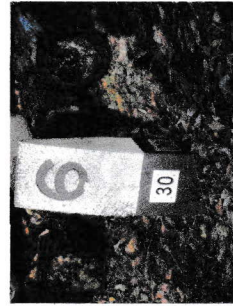
↑ 駐車場の奥に旧第2白坂トンネル(長さ2084m)の入口がありました。閉鎖され立入はできません



三山(さごやま)トンネル  
レンガ造りで長さ125mです



↑ カープの外側で遠心力によるレールのズレを測定した基準器の残骸が所々に出ています



↑ 真平庵からは 蝶ヶ岳、常念岳、横通岳、大天井岳など北アルプスの山々の眺望が素晴らしいです



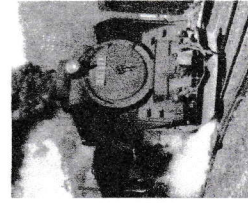
↑ カープの外側で遠心力によるレールのズレを測定した基準器の残骸が所々に出ています



線路脇のコンクリートの円筒は斜面の地下水を抜くための集水井(しゅうすいせい)です



↑ カープの外側で遠心力によるレールのズレを測定した基準器の残骸が所々に出ています



D 5 1



潮沢の山間部には多くの小集落が点在し、お堂が多く見られます。昭和30~40年代までは葉タバコの栽培や緬羊飼育、養蚕で栄えました。

← 潮沢信号場中央

本線とスイチバツ式の上りと下りの引き込み線が交差していました。谷側の電柱の中ほどに作業台が残ります。キロポスト33.6kmの地点です